

レジメンcode:	C54-12	備考
適応がん種:	子宮体癌	
レジメン名:	Pembrolizumab維持療法	
間隔:	6週間	

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
	キイトルーダ	400	mg/body	点滴(30分)	d1

\*C54-12 Pembrolizumab+TC療法実施後のPembrolizumab(6週間隔)維持療法

day1

1) 生食 50ml 1 本

ルート確保

2) キイトルーダ 400 mg/body

生食 50ml 1 本

主管① 点滴 30分 インラインフィルター必須

3) 生食 50ml 1 本

フラッシュ用

〈所要時間 約1時間〉

\*適応:進行・再発の子宮体癌

#### 【文献】

国際共同第Ⅲ相試験【NRG-GY018/KEYNOTE-868試験 N Engl J Med 2023;388(23):2159–2170(PMID:36972022)】

#### 【臨床試験の対象患者】

・化学療法歴のない進行・再発の患者(測定可能病変を有するⅢ/ⅣA期、又は測定可能病変を問わないⅣB期)

・術後化学療法による治療歴は、最終投与から再発まで12ヶ月以上経過している場合は可

#### 【キイトルーダ】

\*甲状腺機能障害、下垂体機能障害及び副腎障害があらわれる事があるため、投与開始前及び投与期間中は定期的に内分泌機能検査を実施すること。

◎検査セット登録あり:場所 カルテ→(検体)→(特殊セット)→(免疫チェックポイント初回)(免疫チェックポイント2回目~)

\*インラインフィルター(0.2~5 μm)を使用する。

\*調製時、又は希釈後に振盪により微粒子が生成される可能性があるため、バイアルは振盪せず、激しく攪拌しない。

\*生食又は5%ブドウ糖に溶解する。同一点滴ラインを使用して他の薬剤を併用同時投与しない。

\*希釈後、25°C以下で6時間以内または2~8°Cで合計96時間以内に使用する。

\*有害事象(肺、肝、内分泌障害、皮膚、胃腸、腎、神経関連など)対処アルゴリズムを参照する。

\*臨床試験での検査スケジュール、投与延期または休薬基準を参照する。